

施策評価シート

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を取り巻く社会環境は、急激な変化を遂げており、市民の学習要求の多様化・高度化に対応し、様々な地域課題や生活課題を解決するために、社会教育の重要性は高まっている。</li> <li>・更なる学習の充実を進め、「ひとづくり」を積極的に推進するとともに、地域・学校・行政の連携による推進体制の整備が望まれている。</li> <li>・学習ニーズを的確に把握し、市民の生涯にわたる自主的な学習活動活性化するよう、様々な学習機会の提供や内容の充実、推進体制の整備が求められている。</li> </ul>
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	地域づくり・ひとづくりを積極的に進めるとともに、地域・学校・行政の連携による学習活動が活発になるような、学習機会の場の充実と心の豊かさや生きる力を育む幅広い連携を目指す。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	開かれた学校づくり講座参加者	講座参加者(人)	8,726	
②	小泉山体験の森 山開きへの参加者数	山開き参加者(人)	280		300
③	多留姫文学自然の里・里まつりへの参加者数	里まつり(人)	150		200

施策の柱 1	名称	学校を中心とした家庭・地域との連携・充実	主管課	生涯学習課	
	詳細	社会をたくましく生き抜く基礎学力を培い、生きる力(自己教育力)の育成に努め、学校と家庭・地域と連携・協働しながら、学校や家庭を含めた地域全体による教育の実現を図る。			
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分
	1	学校開放講座参加者数	講座参加者数(人)	1,544 1,600	1 生涯学習講座関連事業 実施 2 こども読書活動応援センター事業 実施
	2	開かれた学校づくり講座参加者数	講座参加者数(人)	8,726 8,800	3 読りーむinちの活動支援事業 実施 4 コミュニティスクール促進事業 実施
	3				5 実施 6

基本政策間連携

施策の体系	名称	公民協働事業の充実	主管課	生涯学習課	
	詳細	公民協働のパートナーシップの手法により青少年の学習、社会活動への参加を促進するため、必要な学習機会の充実を図り、青少年学習と体験学習の推進を目指す。			
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分
	1	小泉山体験の森 山開きへの参加者数	山開き参加者数(人)	280 300	1 小泉山体験の森整備活用事業 実施 2 多留姫文学自然の里整備活用事業 実施
	2	多留姫文学自然の里 里まつりへの参加者数	里まつり参加者数(人)	150 200	3 団体負担金・団体補助金事務 実施 4 共催・後援事業0予算 実施
	3				5 6

基本政策間連携

施策の柱 3	名称	人権教育の推進	主管課	生涯学習課	
	詳細	基本的な人権が保障され、国籍、性別、高齢者、障害者、子どものいじめなど、あらゆる偏見や差別を許さない相互理解に立った人間性豊かな社会を目指す。			
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分
	1	茅野市人権教育研修会参加者数	参加者数(人)	104 120	1 生涯学習講座関連事業 実施
	2				2 3
	3				4 5 6

基本政策間連携

施策評価シート

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		主管課	生涯学習課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系	施策の柱 4	名称	成人式事業の推進			主管課	生涯学習課	
		詳細	新成人が社会人として、豊かな心と広い視野を持っていただくとともに、大人になることで生じる権利と義務、責任を自覚できるような式典を目指す。					
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
		1 成人式への参加率	参加者数/対象者数×100(%)	68.30	80.00	1 成人式開催事業	実施	
	2				2			
	3				3			
					4			
					5			
					6			
	基本政策間連携							
	施策の柱 5	名称				主管課		
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
		1				1		
	2				2			
3				3				
				4				
				5				
				6				
基本政策間連携								
施策の柱 6	名称				主管課			
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1				1			
2				2				
3				3				
				4				
				5				
				6				
基本政策間連携								
施策の柱 7	名称				主管課			
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1				1			
2				2				
3				3				
				4				
				5				
				6				
基本政策間連携								

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		主管課	生涯学習課

## 2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
<b>施策</b>	開かれた学校づくり講座参加者	8,726	10,472	12,441			
1		8,800	119.00	141.38	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	コミュニティスクール構想との融合や教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくり講座を充実した。					
	2019年度	コミュニティスクール構想との融合や教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくり講座を充実した。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
<b>施策</b>	小泉山体験の森 山開きへの参加者数	280	300	327			
2		300	100.00	109.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	地域の小中学校の児童生徒の参加者が多く参加した。					
	2019年度	学校への周知により、親子参加や年配の方の参加も多くなりました。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
<b>施策</b>	多留姫文学自然の里・里まつりへの参加者数	150	141	123			
3		200	70.50	61.50	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	他の地区行事が少なく、親子参加が多かった。					
	2019年度	米作りのスタンプラリーを試みたが、学校行事と重なってしまい実績が伸びなかった。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
<b>柱1</b>	学校開放講座参加者数	1,544	1,727	958			
1		1,600	107.94	59.88	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	子ども達の興味関心をもつ、講座内容が参加者の増加に繋がっている。					
	2019年度	教職員の負担軽減の観点から縮小傾向である。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
<b>柱1</b>	開かれた学校づくり講座参加者数	8,726	10,472	12,441			
2		8,800	119.00	141.38	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	コミュニティスクール構想との融合や教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくり講座を充実した。					
	2019年度	コミュニティスクール構想との融合や教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくり講座を充実した。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
<b>柱2</b>	小泉山体験の森 山開きへの参加者数	280	300	327			
1		300	100.00	109.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	地域の小中学校の児童生徒の参加者が多く参加した。					
	2019年度	学校への周知により、親子参加や年配の方の参加も多くなりました。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱2 2	多留姫文学自然の里 里まつりへの参加者数	150	141	123			
		200	70.50	61.50	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	他の地区行事が少なく、親子参加が多かった					
	2019年度	米作りのスタンプラリーを試みたが、学校行事と重なってしまい実績が伸びなかった。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱3 1	茅野市人権教育研修会参加者数	104	120	104			
		120	100.00	86.67	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	講演内容「性同一障がいの現状と課題」に多くの方に興味関心を持ってもらった					
	2019年度	研修会の講演は満蒙開拓団の話であり、面白い切り口であったが、実績数値が伸びなかった。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱4 1	成人式への参加率	68	60	60			
		80	75.00	75.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	対象者の内、茅野市出身でなく、出席しない者(転入者等)も一定数あることから数字として表れてくる参加率は伸び悩み傾向にある。					
	2019年度	対象者の内、茅野市出身でなく、出席しない者(転入者等)も一定数あることから数字として表れてくる参加率は伸び悩み傾向にある。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	地域づくり・ひとづくりの推進	体系番号	0201020106
		主管課	生涯学習課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)	
投資額	事業費(円)	11,471,629		11,842,860	1.03	11,128,000	0.94				
	うち一財(円)	11,471,629		11,842,860	1.03	11,127,000	0.94				
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)										
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調							
総合評価	主な取組内容や成果	生涯学習講座関連費の講座について、外部講師の知識や経験が学校教育への有効な効果をもたらしている。また、小泉山体験の森の看板リニューアル整備は、薄れがちであった地域の親子の関わりを復活する効果がある。		・生涯学習講座関連費の講座については、コミュニティスクール構想と合致し、学校を中心として家庭や地域とのつながりを深めている。							
	課題	生涯学習関連費の講座について、魅力ある講座内容を取り込む必要がある。公民協働の事業について、地区の役員と兼務である負担感や役員の高齢化が課題となる。		公民協働事業における市民の主体性を促す事務局の関わり方や事業内容が本来の目的に合致しているか、また、疲弊しないよう会員の負担軽減も考えていく必要がある。							
改革・改善	改革・改善内容	生涯学習講座関連費のうちコミュニティスクールや教職員の負担軽減から、学校開放講座を縮小し、開かれた学校づくりを充実する。小泉山体験の森の看板リニューアル整備事業において地域の親子参加を促す。		公民協働事業における市民の主体性を促すため、役員やメンバーと情報共有を密に行い、事業内容が本来の目的に合致しているかやメンバーやステークホルダーの負担になっていることはないかなど常に意識する習慣をつける。							
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	2	2							
		重点事務事業	1	1							
理由	公民協働のパートナーシップのまちづくり事業の推進は、地域の生涯学習の場の提供や地域コミュニティの向上が図られる。		小泉山体験の森整備活用事業は、小泉山周辺を取り囲む地区と近隣保育園、小学校、大学等の教育機関とも連携し、多くの人が関わり里山活用を行う先進事例である。								

作成担当者	伊藤研一	河西茂廣		
最終評価責任者	平出信次	北沢政英		
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日		